

4 リハビリテーションセンター

新棟へ移転をしてから2年目となり、新しい環境にも慣れてきました。
自慢の屋外テラスでは、何度かテレビや映画のロケが行われました。

人事面では、今年度も内田室長のもと理学療法士4名、作業療法士1名、言語聴覚療法士2名（うち臨時職員1名）、心理職1名の体制で実施しました。

実施件数は、移転後のベッド数削減により減少していましたが、今年度は昨年度10.7%増の19,823件になっています。

業務では、精神科が中心となって精神科リエゾンチームを立ち上げ、心理職石丸がチーム回診やコンサルテーションを開始しました。

	2013年度	2012年度	2011年度
運動器リハビリⅠ	7,041件	5,618件	7,125件
脳血管リハビリⅡ	1,929	2,588	2,892
廃用症候群リハビリⅡ	10,524	9,625	11,404
呼吸器リハビリⅠ	329	76	18
合計	19,823件	17,907件	21,439件
早期加算14日	9,696件	2,711件	0件
早期加算30日	14,747	12,400	12,710
評価/指導	1,707	1,336	286

(文責 リハビリテーションセンター担当係長 植松 豊子)

<理学療法>

2013年度、理学療法の新規患者数は、1292名（入院1202名、外来90名）でした。総実施件数は、14000件（入院13452件、外来548件）でした。

総実施件数の疾患別リハビリテーションの内訳は、脳血管疾患等リハビリテーション1102件（7,9%）、脳血管疾患（廃用症候群）リハビリテーション6039件（43,1%）、運動器リハビリテーション6107件（43,6%）、呼吸器リハビリテーション330件（2,4%）、その他422件（3,0%）でした。

(文責 リハビリテーションセンター主任 山口 砂織)

<作業療法>

2013年度作業療法の新規処方数は入院 152 件、外来 51 件、合計 203 件でした。リハビリテーションの実施数は入院 1203 件(49.2%)、外来 1240 件(50.8%)で合計 2443 件となりました。

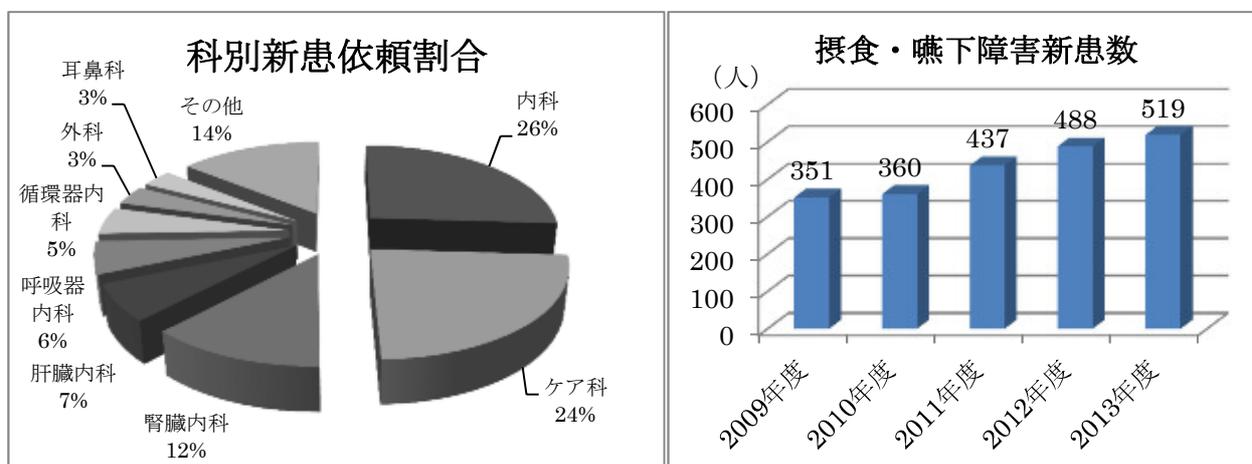
総実施数 2443 件の疾患別リハビリテーションの内訳は、脳血管疾患リハビリテーション 274 件(11.2%)、脳血管リハビリテーション(廃用症候群)242 件(9.9%)、運動器リハビリテーション 1673 件(68.5%)、呼吸器リハビリテーション 34 件(1.4%)、その他 220 件(9%)でした。

(文責 リハビリテーションセンター 井上 望美)

<言語・摂食機能療法>

今年度の新患数は 594 名で、内訳は嚥下障害 577 名、失語症 7 名、構音障害 5 名、音声障害 4 名、高次脳機能障害 1 名でした。依頼は各診療科からありましたが、内科とケア科で半数を占めました。今年度も嚥下障害の新患が更に増加し、例年と同様高齢者の割合が高い状況でした。嚥下の検査である VE(嚥下内視鏡検査)は 363 件、VF(嚥下造影検査)は 3 件施行しました。今年度は耳鼻科の先生方のご指導で、より正確・綿密に VE 検査を実施することができ、ほとんどの嚥下機能検査を VE で行うようになったため VF の件数は大幅に減少しました。但し新患数が非常に多く、VE を行うことができる患者数に限界があることが今後の課題と考えます。

外来での言語グループ訓練は引き続き月に 1～2 回行い、そのうち年 6 回は園芸療法の毛利ユカ先生にご指導いただきました。



(文責 リハビリテーションセンター 主任 谷内田 綾)

<心理検査・心理面接>

各診療科から心理への外来入院別の依頼件数は、図1から内科 262件(外来 51件、入院 211件)、肝臓内科 75件(外来 5件、入院 70件)、腎臓内科 154件(外来 6件、入院 148件)、糖尿内科 94件(外来 20件、入院 74件)、呼吸器内科 171件(外来 3件、入院 168件)、循環器内科 91件(外来 3件、入院 88件)、神経内科 15件(外来 15件)、精神科 341件(外来 330件、入院 11件)、外科 96件(外来 32件、入院 64件)、整形外科 95件(外来 1件、入院 94件)、耳鼻咽喉科 1件(入院 1件)、泌尿器科 19件(入院 19件)、婦人科 1件(入院 1件)、脳神経外科 8件(入院 8件)、リウマチ科 25件(外来 2件、入院 23件)、血液科 69件(外来 2件、入院 67件)、乳腺外科 7件(入院 7件)。ケア科 223件(外来 18件、入院 205件)、総合医療 7件(外来 1件、入院 6件)で、精神科の件数が多い。またケア科の入院件数以外、各科入院件数の内容は精神科リエゾンチームで介入したもので、精神科リエゾンチームの件数は、図3の実施内容とおりの1071件で61%をしめています。

年代性別では、図2から60歳代から90歳代が多いです。性別は合計すると男性855件、女性906件で女性が多いです。

実施内容は、図3から心理検査244件(14%)、心理療法392件(22%)、家族療法33件(2%)、糖尿病グループ20件(1%)、精神科インテーク1件、精神科リエゾンチームについては既述のとおりです。

心理検査は、図4から認知症の神経心理学的検査がほとんどです。

